

安全データシート

【GHS9版, JIS Z7252(2025), JIS Z7253(2025)準拠】

1. 製品及び会社情報

整理番号 : KI113-01
製品名 : フェニックスマストフロアブル
会社名 : クミアイ化学工業株式会社
住所 : 東京都台東区池之端1-4-26
担当部門 : サステナビリティ推進部 レスポンシブル・ケア推進課
電話番号 : 03-3822-5180
FAX番号 : 03-3823-6830
ホームページ : <https://www.kumiai-chem.co.jp/>
緊急連絡先 : 平日 午前9時～午後5時 (電話番号03-3823-6830)
推奨用途 : 農薬(最終有効年月まで)
使用上の制限 : 推奨用途以外への使用を禁ずる。

2. 危険有害性の要約

製品のGHS分類

物理化学的危険性	区分に該当しない
健康に対する有害性	
生殖毒性	追加区分(授乳に対する又は授乳を介した影響)
特定標的臓器毒性(単回ばく露)	区分2(血液系、中枢神経系)
特定標的臓器毒性(反復ばく露)	区分2(中枢神経系、呼吸器系)
環境に対する有害性	
水生環境有害性 長期(慢性)	区分2

上記で記載がない危険有害性は、「区分に該当しない」か「分類できない」。

GHSラベル要素

絵表示又はシンボ



注意喚起語

警告

危険性有害性情報

H362:授乳中の子に害を及ぼすおそれ。
H371:臓器(血液系、中枢神経系)の障害のおそれ。
H373:長期にわたる、又は反復ばく露による臓器(中枢神経系、呼吸器系)の障害のおそれ。
H411:長期継続的影響によって水生生物に毒性。

安全データシート

注意書き

【安全対策】

P101:医学的な助言が必要な時には、製品容器やラベルをもっていくこと。

P102:子供の手の届かないところに置くこと。

P203:使用前に全ての安全説明書を入手し、読み、従うこと。

P260:ミスト／蒸気を吸入しないこと。

P263:妊娠中及び授乳期中は接触を避けること。

P264:取扱後は手をよく洗うこと。

P270:この製品を使用するとき、飲食又は喫煙をしないこと。

P273:環境への放出を避けること。

【応急措置】

P308+P316:ばく露またはその懸念がある場合:すぐに救急の医療処置を受けること。

P319:気分が悪いときは、医療措置を受けること。

P391:漏出物を回収すること。

【保管】

P405:施錠して保管すること。

【廃棄】

P501:内容物、容器を国、都道府県、又は市町村の規則に従って安全に処理する。または都道府県知事の許可を受けた専門の産業廃棄物処理業者に委託して適切に処理する。

他の危険有害性

・情報なし。

3. 組成及び成分情報

単一製品・混合物の区別

混合物

化学名又は一般名

1-[(2-クロロ-1,3-チアゾール-5-イル)メチル]-3-(3,5-ジクロロフェニル)-9-メチル-2,4-ジオキソ-3,4-ジヒドロ-2H-1λ5-ピリド[1,2-a]ピリミジン-1-イリウム-3-イド／一般名:ジクロロメゾチアズ
3-ヨード-N'-(2-メシル-1,1-ジメチルエチル)-N-{4-[1,2,2,2-テトラフルオロ-1-(トリフルオロメチル)エチル]-o-トリル}フタルアミド／一般名:フルベンジアミド

成分及び含有量

(W/W)

ジクロロメゾチアズ	9.2 %
フルベンジアミド	18.0 %
水、界面活性剤等	72.8 %
合 計	100 %

危険有害成分

(W/W)

ジクロロメゾチアズ	9.2 %
フルベンジアミド	18.0 %
プロピレングリコール	≧5-≦10 %
パリゴルスカイト	≧0.1-≦1 %

安全データシート

官報公示整理番号

化審法	プロピレングリコール	2-234
労働安全衛生法	ジクロロメゾチアズ	8-(2)-2918
	フルベンジアミド	4-(7)-2134
CAS RN [®]	ジクロロメゾチアズ	1263629-39-5
	フルベンジアミド	272451-65-7
	プロピレングリコール	57-55-6
	パリゴルスカイト	12174-11-7

4. 応急措置

吸入した場合	空気の新鮮な場所に移動する。症状が悪化したり継続したりする場合は医師に連絡する。
皮膚に付着した場合	汚染された衣服を直ちに脱ぎ、皮膚を石鹼と水で洗浄する。刺激が強まったり続く場合には医師の手当てを受ける。
眼に入った場合	水で数分間注意深く洗うこと。コンタクトレンズをしていて容易に取り外せる場合は取り外す。その後も洗浄を続けること。刺激が強まったり続く場合には医師の手当てを受ける。
飲み込んだ場合	口をすすぐこと。1-2杯の水を飲ませる。意識の無いときには、口から何も与えてはならない。症状が現れたら医師の手当てを受ける。
急性症状及び遅発性症状の	情報なし。
最も重要な徴候症状	情報なし。
応急措置をする者の保護	救助者は、状況に応じて適切な保護具を着用すること。（「8. ばく露防止及び保護措置」を参照）
医師に対する特別な注意事項	情報なし。

5. 火災時の措置

適切な消火剤	水噴霧。泡消火剤。粉末消火剤。二酸化炭素。
使ってはならない消火剤	知見なし。
特有の危険有害性	火災の際は健康に有害なガスが生成されることがある。
特有の消火方法	適切な保護具を着用する。火災の場合は、自給式呼吸装置を着用する。消火水が、地上水または地下水のシステムを汚染しないようにする。
消火活動を行う者の特別な保護具	消火作業は風上から行い、有毒なガスの吸入を避ける。
及び予防措置	消火作業の際は、状況に応じて適切な保護具を着用すること。（「8. ばく露防止及び保護措置」を参照）

6. 漏出時の措置

人体に対する注意事項、保護具及び緊急措置	関係者以外の立ち入りを禁止する。こぼれやもれが起きている場所から関係者以外を遠ざけ、風上に避難させる。清掃中は適切な保護具および防護服を着用する。ミスト／蒸気を吸入しないこと。十分な換気を確保する。
----------------------	---

安全データシート

環境に対する注意事項	環境への放出を避けること。安全を確認してから、もれやこぼれを止める。下水や水路、地面への排出を避ける。
封じ込め及び浄化の方法及び機材	水路、下水道、地下または密閉された場所へ流入を防ぐ。パーミキュライト、乾いた砂または土に吸収し、容器に収納する。製品回収後、その付近を水で洗い流す。廃棄物の廃棄方法については、「13. 廃棄上の注意」を参照。
二次災害防止策	危険でなければ、漏出物を速やかに回収すること。

7. 取扱い及び保管上の注意

取扱い

技術的対策 「8. ばく露防止及び保護措置」に記載の設備対策を行い、保護具を着用する。取扱い場所の近くに、緊急時に洗顔及び身体洗浄をおこなうための設備を設置し、位置を明確に表示すること。

安全取扱い注意事項: ミスト／蒸気を吸入しないこと。使用中は飲食や喫煙をしない。妊娠中または授乳中の女性はこの製品を取り扱ってはならない。取扱い後は手をよく洗うこと。環境への放出を避けること。「8. ばく露防止及び保護措置」で推奨される個人用保護具を使用すること。

接触回避

「10. 安定性及び反応性」を参照。

衛生対策

この製品を使用する時に、飲食又は喫煙をしないこと。本物質を取り扱った後、飲食や喫煙をする前に手を洗うなど、常に適切な衛生措置をとる。汚染物質を取り除くために定期的に作業衣と保護具を洗うこと。

保管

安全な保管条件

施錠できる場所に容器を密栓して、乾燥した冷暗所に保管すること。子供の手の届かない場所に保管すること。飲食品や飼料から離して保管する。混触禁止物質から離して保管すること（「10. 安定性及び反応性」を参照）。

安全な容器包装材料

元の容器に密閉して保管する。

8. ばく露防止及び保護措置

管理濃度(厚生労働省)

設定されていない。

許容濃度等

日本産業衛生学会(2025年度)

設定されていない。

ACGIH(2025年版)

設定されていない。

設備対策

適切な全体換気を行わなければならない。換気回数は状況に合わせる。ばく露限界値が設定されている場合は、密閉装置、局所排気装置その他の装置により、空气中濃度をばく露限界値以下に保つこと。ばく露限界値が設定されていない場合も、空气中の濃度を適切な濃度以下に抑える。

有害物が環境中へ放出されないように、排気装置には除害設備を設ける。

貯蔵ないし取扱う作業場には洗眼器、緊急用シャワー等の施設を設置し、位置を明確に表示すること。

保護具

保護具の選定にあたっては「皮膚障害等防止用保護具の選定マニュアル(2025年3月第2版厚生労働省)」を参考にする。

呼吸用保護具

JIST8150を参照し、作業に適する性能および構造の防じんマスク又は簡易防じ

安全データシート

んマスク、防毒マスク等を着用すること。

手の保護具

JIST8116を参照し、作業に適した耐化学薬品性の手袋を着用しなければならない。手袋の選定にあたっては、保護具メーカーから最新の情報を入手すること。

眼及び／又は顔面の保護具

JIST8147を参照し、作業状況に応じた適切な保護眼鏡(側板付き普通眼鏡型、ゴーグル型)又は保護面を使用すること。

皮膚及び身体の保護具

作業に適した作業着を着用する。作業状況により不浸透性の保護衣(化学防護服、化学防護長靴等)も着用し、選定にあたっては、化学防護服はJIST8115、化学防護長靴はJIST8117を参照する。

9. 物理的及び化学的性質

物理状態	水和性粘稠懸濁液体
色	淡黄緑色～黄色
臭い	なし。
融点／凝固点	データなし。
沸点又は初留点及び沸騰範囲	データなし。
可燃性	データなし。
爆発限界及び爆発上限界／可燃限界	データなし。
引火点	引火しない。
自然発火点	データなし。
分解温度	データなし。
加水分解性	データなし。
水中光分解性	データなし。
pH	4.0～10.0
動粘性率	データなし。
溶解度	データなし。
n-オクタノール／水分配係数(Log値)	データなし。
蒸気圧	データなし。
密度及び／又は相対密度(比重)	1.09～1.19
粉じん爆発下限濃度	データなし。
最小着火エネルギー(MIE)	データなし。
相対ガス密度	データなし。
粒子特性	データなし。
酸化性	データなし。
金属腐食性	データなし。

10. 安定性及び反応性

反応性	本製品は、通常の使用、保管および輸送条件下では安定かつ非反応性である。
化学的安定性	通常状態で安定。

安全データシート

危険有害反応可能性

一般的な使用条件下では、危険な反応は知られていない。

避けるべき条件

混触危険物質との接触。

混触危険物質

強酸化剤。

危険有害な分解生成物

危険有害な分解生成物は知られていない。

11. 有害性情報

急性毒性

(経口)

ラットLD50 > 2000 mg/kg

皮膚腐食性/刺激性

ウサギ 軽度の刺激性(GHS分類では区分に該当しない)。

眼に対する重篤な損傷性及び眼刺激性

ウサギ 極軽度刺激物(GHS分類では区分に該当しない)。

(参考)パリゴルスカイト : 区分2A

(参考)ジクロロメゾチアズ: 区分2B

呼吸器感作性

製品のデータなし。

皮膚感作性

モルモット 陰性。

(参考)ジクロロメゾチアズ: 区分1B

生殖細胞変異原性

製品のデータなし。

発がん性

製品のデータなし。

(参考)パリゴルスカイト: 区分2

(参考)パリゴルスカイト(CAS12174-11-7) IARC発がん性評価モノグラフ

2Bヒトに発がん性の可能性がある。

3 ヒトへの発がん性を分類できない。

生殖毒性・授乳を介した影響

授乳中の子に害を及ぼすおそれ。製品のデータなし。

(参考)フルベンジアミド

ラット児動物の眼病変に対するメカニズム試験結果: 乳汁を介した児世代への影響の可能性。

ウサギ催奇形性試験結果: 区分に該当しない。

ラット繁殖毒性及び催奇形性試験結果: 区分に該当しない。

特定標的臓器毒性

臓器(血液系, 中枢神経系)の障害のおそれ。製品のデータなし。

(単回ばく露)

(参考)プロピレングリコール

区分1(中枢神経系, 呼吸器系)、区分3(麻酔作用)、

特定標的臓器毒性

長期にわたる、又は反復ばく露による臓器(中枢神経系, 呼吸器系)の障害のおそれ。製品のデータなし。

(反復ばく露)

(参考)プロピレングリコール

区分1(中枢神経系, 呼吸器系)

(参考)パリゴルスカイト

区分1(呼吸器系)

誤えん有害性

製品のデータなし。

安全データシート

その他の情報

呼吸器や皮膚にアレルギー反応を起こすことがある。

12. 環境影響情報

生態毒性

水生環境有害性

長期継続的影響によって水生生物に毒性。製品のデータなし。急性や慢性区分に分類される成分含量から推定した。

残留性・分解性

製品のデータなし。

生体蓄積性

製品のデータなし。

土壌中の移動性

製品のデータなし。

オゾン層への有害性

製品のデータなし。

13. 廃棄上の注意

残余廃棄物

廃棄の前に、可能な限り無害化、安定化及び中和等の処理を行って危険有害性のレベルを低い状態にする。廃棄においては、国及び国際規則等の関連法規並びに地方自治体の規定に従うこと。処分を委託する場合は、廃棄物処理法の許可を受けた産業廃棄物処理業者に廃棄物の内容を明確にし、危険性、有害性を十分に告知の上処理を委託する。

汚染容器及び包装

製品の残余物が残っているかもしれないので、容器が空になった後もラベルの警告に従う。容器は清浄にしてリサイクルするか、関連法規並びに地方自治体の規定に従って適切な処分を行う。空容器を廃棄する場合は、内容物を完全に除去すること。

14. 輸送上の注意

移送取扱いとは丁寧に行う。

輸送に際しては直射日光を避け、容器の破損、腐食、漏れ等がないことを確認する。転倒、落下、破損がないように積み込み、荷崩れの防止を確実に行う。車輛、船舶には保護具(手袋、眼鏡、マスク等)を備える他、緊急時の処理に必要な消火器、工具などを備えておく。重量物を上積みしない。

国際規制

海上規制情報

IMDGの規定に従う。

航空規制情報

ICAO/IATAの規定に従う。

国連番号

UN3082

国連品名

ENVIRONMENTALLY HAZARDOUS SUBSTANCE, LIQUID, N.O.S.
(Flubendiamide)

国連危険有害性クラス

9 (有害性物質)

副次危険性

—

容器等級

III

海洋汚染物質

MARINE POLLUTANT

MARPOL73/78付属書2及びIBCコード によるばら積み輸送される 液体物質

該当しない。

安全データシート

国内規制	
陸上規制情報	道路法、消防法、労働安全衛生法、毒物及び劇物取締法の規定に該当する場合は、それぞれの法律の規定に従う。
海上規制情報	船舶安全法の規定に従った容器・包装、表示、積載・輸送方法により輸送する。
空規制情報	航空法の規定に従った容器・包装、表示、積載・輸送方法により輸送する。

緊急時応急措置指針番号 171

15. 適用法令

労働安全衛生法

施行令第18条(表示対象物質)	プロピレングリコール(60%)(安衛則別表第2の1786) 沃素及びその化合物(180%)(安衛法施行令別表第9の32) 【令和9年4月1日以降】 フルベンジアミド(180%)(安衛則別表第2の1070の2)
施行令第18条の2(通知対象物質)	プロピレングリコール(60%)(安衛則別表第2の1786) パリゴルスカイト(0.85%)(安衛則別表第2の1563) 沃素及びその化合物(180%)(安衛法施行令別表第9の32) 【令和9年4月1日以降】 フルベンジアミド(18.0 %)(安衛則別表第2の1070の2)
化学物質排出把握管理促進法(PRTR法)	第1種指定化学物質660号 フルベンジアミド
毒物及び劇物取締法	非該当
化学物質審査規制法(化審法)	優先評価化学物質 プロパン-1,2-ジオール(官報整理番号 2-234)
消防法	非該当(非危険物)
農薬取締法	該当
船舶安全法	有害性物質(液体)(危規則第2, 3条危険物告示別表第1)
航空法	その他の有害物件(液体)(施行規則第194条危険物告示別表第1)
港則法	環境有害物質(液体)
道路法	施行令第19条の13(通行制限物質)劇物
海洋汚染等及び海上災害の防止に関する法律	海洋汚染物質
廃棄物の処理及び清掃に関する法律	産業廃棄物

16. その他の情報

引用文献	安全データシート「フェニックスマストフロアブル」 SDS528-00175 日本農薬株式会社 2025 年1 月 16 日発行 版番号:01
------	---

記載内容は現時点で入手できた資料や情報に基づいて作成しておりますが、含有量、物理化学的性質、危険・有害性等のデータや評価に関しては、いかなる保証もなすものではありません。すべての化学製品には未知の有害性があり得るため、取扱いには細心の

安全データシート

注意が必要です。ご使用者各位の責任において、安全な使用条件を設定下さるようお願いいたします。

また、記載事項は通常の取扱いを対象にしたものですので、特別な取扱いをする場合には新たに用途、用法に適した安全対策を実施のうえ、取扱い願います。

作成部署以外の連絡先

(財団法人)日本中毒情報センター

大 阪 (年中無休、24時間)	一般市民向け相談電話(無料)	072-727-2499
	医療機関専用有料電話	072-726-9923
つくば(年中無休、24時間)	一般市民向け相談電話(無料)	029-852-9999
	医療機関専用有料電話	029-851-9999

※ ただし、上記の何れも通話料は相談者の負担となります。

※ 弊社製品に関する問い合わせにつきましては、医療機関専用有料電話の利用料(1 件 2,000 円)は弊社が負担いたします。